

## 特別会計の 決算を見てみよう

特別会計とは、一般会計に対して、特定の歳入、歳出を一般会計と区別して別個に処理する会計をいいます。介護保険会計が新たに設置されたため、平成12年度は国民健康保険、老人保健、公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水事業の6会計となりました。それぞれの決算状況を見てみましょう。

### 国民健康保険

#### 介護保険への納付金が主な増加原因

国民健康保険の被保険者は、平成12年度で7,707世帯、16,708人。平成11年度と比較しますと、介護保険制度の開始に伴う介護保険会計への納付金が主な増加要因となっています。

#### 国民健康保険会計

| 項目  | 平成12年度決算額    | 平成11年度との比較     |
|-----|--------------|----------------|
| 歳入額 | 32億1,408万7千円 | 2億5,935万8千円の増加 |
| 歳出額 | 30億2,910万3千円 | 2億1,391万7千円の増加 |

### 介護保険

#### 平成12年度の介護サービス受給者数は月平均591人

介護保険事業は、平成12年度から施行され、介護サービス受給者数は月平均は591人でした。在宅・施設サービス費として使われた金額は9億9,860万6,000円で、年間に利用者1人あたり、およそ14万円利用されたこととなります。

#### 介護保険会計

| 項目  | 平成12年度決算額    |
|-----|--------------|
| 歳入額 | 12億3,561万7千円 |
| 歳出額 | 11億4,623万円   |

### 老人保健

#### 総額は減少するも医療費は9.3%増加

老人保健会計の歳入、歳出とも減少したのは、平成12年4月から施行された介護保険制度により、療養型病床群と施設療養、訪問看護が介護給付費から支給されるようになったためです。

ただし、外来や入院、歯科、調剤などの医療費については、2億9,015万8千円増加して、35億957万3千円となり、受給者1人あたり621,604円給付されたこととなります。

#### 老人保健会計

| 項目  | 平成12年度決算額    | 平成11年度との比較     |
|-----|--------------|----------------|
| 歳入額 | 35億8,187万5千円 | 1億6,151万3千円の減少 |
| 歳出額 | 35億3,149万4千円 | 1億8,374万4千円の減少 |

#### 老人保健に関する一口メモ

1. 老人保健の受給者は昨年度末で5,646人。
2. 昨年度の外来や入院などの件数は119,086件。大半を外来、調剤が占めています。

### 公共下水道 特定環境保全公共下水道

#### 農業集落排水事業

#### 市内の下水道整備率は61.3%に

公共下水道会計では、歳出の75.3%が下水道建設費となっています。これにより整備済面積は29.9ヘクタール増加し、676.8ヘクタールとなり、整備の進ちょく率は39.2%となっています。

特定環境保全公共下水道会計では歳出の92.1%が下水道建設費となっています。

整備済面積は70.2ヘクタール増加し、169.7ヘクタールとなり、整備の進ちょく率は91.8%となっています。

農業集落排水事業会計は歳出の87.0%が下水道建設費となっており、整備済面積は110.0ヘクタール増加し、315.6ヘクタールとなり、整備の進ちょく率は97.7%となっています。

#### 公共下水道会計

| 項目  | 平成12年度決算額  | 平成11年度との比較   |
|-----|------------|--------------|
| 歳入額 | 39億774万5千円 | 5,211万9千円の減少 |
| 歳出額 | 38億116万5千円 | 8,662万1千円の減少 |

#### 特定環境保全公共下水道会計

| 項目  | 平成12年度決算額    | 平成11年度との比較     |
|-----|--------------|----------------|
| 歳入額 | 15億2,992万6千円 | 3億8,558万5千円の増加 |
| 歳出額 | 14億8,857万円   | 3億9,636万円の増加   |

#### 農業集落排水事業会計

| 項目  | 平成12年度決算額   | 平成11年度との比較   |
|-----|-------------|--------------|
| 歳入額 | 6億1,694万3千円 | 6,083万9千円の減少 |
| 歳出額 | 5億8,305万円   | 5,724万6千円の減少 |

## 一般会計の 決算を見てみよう

平成12年度は新世紀にふさわしい美濃加茂市のため、元気で住み良いまちづくりに取り組んできました。決算額を平成11年度と比較しますと、文化の森建設事業などの大型事業の完了により、歳入、歳出とも約30億円減少しています。

### 主な施策

#### 高齢化社会への対応

みのかも西デイサービスセンターあじさいの建設や高齢者が要介護状態にならないための支援、介護事業以外のデイサービスやショートステイなど生活支援福祉サービス事業などを推進しました。

#### 子育て支援

子育てに悩む親の増加や女性の社会参加への対応として、子育て支援センター事業やコミュニティママ事業の充実に努めました。

#### 環境基本計画の策定

増加する苦情に対応し、公害のない住み良いまちづくりを目指して環境基本条例を制定し、環境基本計画策定に向けて基礎調査に着手しました。

#### 勤労者への支援

景気の低迷による勤労者を取り巻く環境は厳しく、各種の融資支援や商店街振興、中心市街地活性化対策やポイントカード事業などへの助成を行いました。

#### 道路整備と区画整理事業

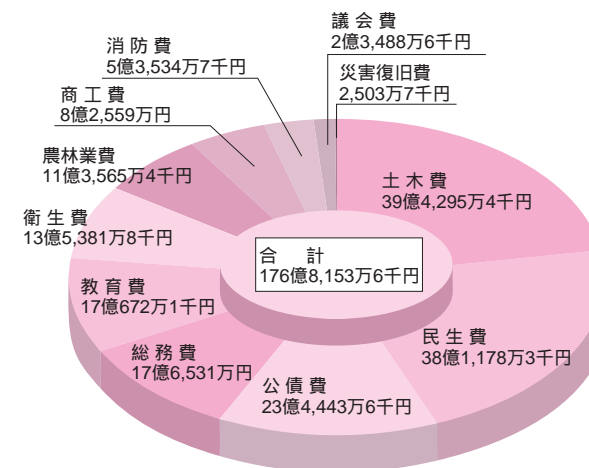
各自治会からの要望である生活関連道路のほか、正理インター線など幹線市道の整備に努めました。また、土地区画整理事業として中部台地土地区画整理事業を推進しました。

#### 新しい時代に適応する教育の充実

小中学校の総合学習や生涯学習、文化の拠点としてみのかも文化の森がオープンし、津田左右吉博士記念館が完成しました。

また、IT教育の推進のため、小中学校への教育用パソコン配置を積極的に行いました。

#### 平成12年度一般会計歳出決算額の内訳



#### 平成12年度一般会計歳入決算額の内訳

